

明治四十四年十二月

臺灣親族相續法第一草案

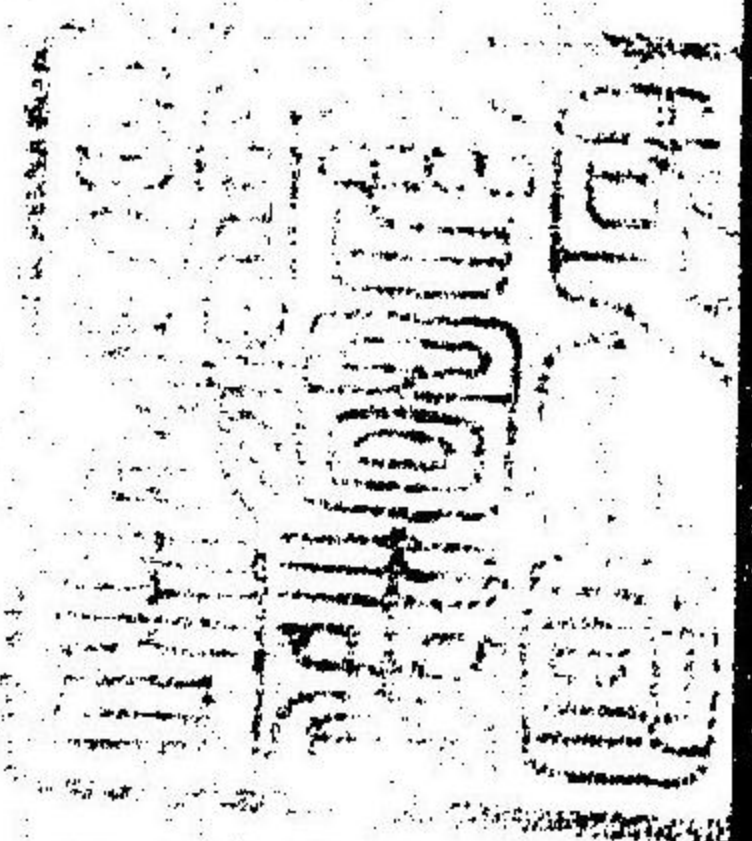
臨時臺灣舊慣調查會

8830

324.92

R57t2

本案ハ之ヲ臺灣人ニ對スル親族相續法ノ第一草案
トス而シテ本案ノ起草ニ際シテハ主トシテ臺灣舊
慣ノ整理ヲ旨トセリ若シ夫レ世界各法系ノ立法ヲ
參酌シテ詳細ナル規定ヲ設クヘキヤ否ヤハ之ヲ第
二草案ノ問題トス



臺灣親族相續法 第一草案

第一篇 親族

第一章 總則

(下卷)
七七頁
至九六頁
(以上條之)

第一條 左ニ掲クル血族相互ノ間ニハ親族關係ヲ生ス

一 男系血族(同宗親)

二 三世親内ノ同宗以外ノ血族(外親)但祖姑、外祖姑、祖舅、祖姨ヨリ降下セル再表兄弟姊妹ヲ除ク

第二條 夫ト妻トノ間ニハ親族關係ヲ生ス

第三條 妻ト夫ノ親族トノ間ニハ親族關係ヲ生ス

第四條 夫ト妻ノ二世親内ノ血族及其妻トノ間ニハ親族關係ヲ生ス但妻ノ舅、姨、從表兄弟姊妹ヲ除ク

前項ノ規定ハ妻カ買斷セラレタル場合ニハ之ヲ適用セス

第五條 養媳又ハ養婿ト將來配偶者タルヘキ者トノ間ニハ親族關係ヲ

二九頁

同上

同上

同上

生ス

養媳又ハ養婿ト將來配偶者タルヘキ者ノ親族トノ間ニハ兩者カ婚姻ヲ爲スニ因リテ生スルト同一ノ親族關係ヲ生ス將來配偶者タルヘキ者ト養媳又ハ養婿ノ親族トノ間ニ於テモ亦同シ

三〇頁

ス

第六條 妾ト夫及其祖父母、父母、妻子、孫、子孫婦トノ間ニハ親族關係ヲ生ス

三六頁

前項ノ親族關係ハ妾ノ離別ニ因リテ消滅ス

三九頁

第七條 養父母及其親族ト養子及其配偶者並ニ直系卑屬トノ間ニハ實親子ヨリ生スルト同一ノ親族關係ヲ生ス

四一頁

第八條 左ニ掲クル者ノ間ニハ實母子ヨリ生スルト同一ノ親族關係ヲ生ス

三九頁
四一頁

一 繼母及其本生親族ト前妻ノ子及其配偶者並ニ直系卑屬トノ間
二 嫡母及其本生親族ト庶子及其配偶者並ニ直系卑屬トノ間
前項ノ關係ハ繼母、嫡母ノ死亡又ハ婚姻解消ニ因リテ消滅ス但子カ繼母ニ從ヒ父ノ家ヲ去リタルトキハ子ト繼母トノ間ニノミ尙親族關係

ヲ存ス

三七頁

第九條 繼父ト前夫ノ子トノ間ニハ親族關係ヲ生ス

前項ノ關係ハ繼父ト前夫ノ子ノ母トノ婚姻解消又ハ前夫ノ子カ繼父ノ家ヲ去リタルトキニ消滅ス

二四頁

第十條 子ト母ノ本生親族トノ親族關係ハ父母ノ婚姻解消ニ因リテ消滅ス

二六頁以下

第十一條 子ト父母及其親族トノ親族關係ハ子ノ賣斷ニ因リテ消滅ス但子ノ歸宗ニ因リテ親族關係ヲ回復ス

第十二條 第二條乃至第五條及第七條ノ親族關係ハ婚姻又ハ縁組ノ解消ニ因リテ消滅ス

七〇頁以下

第十三條 親世ハ親族間ノ世數ヲ算シテ之ヲ定ム

旁系親ノ親世ハ同始祖ニ遡ルノ世數ニ依ル但雙方ノ世數ニ差異アルトキハ其多キニ從フ

五六頁

第十四條 父母ト同列以上ニ在ル者ハ之ヲ尊屬トシ子女ト同列以下ニ在ル者ハ之ヲ卑屬トス

自己ト同列以下ニ在ル者ハ之ヲ同列親トシ自己ヨリ年長ナル者ハ之ヲ長トシ年少ナル者ハ之ヲ幼トス
尊屬及年長ノ同列親ハ之ヲ尊長トシ卑屬及年少ノ同列親ハ之ヲ卑幼トス

第二章 家

第一節 總 則

一九六頁以下

第十五條 家祖ノ同宗ニシテ家ニ在ル者ハ之ヲ正家屬トス
招婿、招夫、前夫子、養子、養棄兒、本宗婦女ノ姦生子其他家祖ノ同宗ニ非スシテ其家ニ在ル者ハ之ヲ準家屬トス
婢女ハ其主家ニ附籍ス

一八八頁

第十六條 男子タル正家屬中ノ最尊長者ヲ以テ家長トス
男子タル正家屬ナキトキハ婦女タル正家屬中ノ最尊長者ヲ以テ家長トス

一九〇頁

第十七條 子ハ父ノ家ニ入ル

一九八頁

同上

父ノ收養セサル姦生子ハ母ノ家ニ入ル
收養セラレタル棄兒ハ養父ノ家ニ入ル

第十八條 婚姻中ニ懐胎シタルモ離婚後ニ生レタル子ハ母又ハ其後夫ノ家ニ入ル但前夫カ母又ハ其後夫ノ同意ヲ得テ子養スルトキハ此限ニ在ラス

一九九頁

第十九條 養子ハ縁組ニ因リテ養家ニ入ル
養子ハ其縁組ノ解消ニ因リテ生家ニ復歸ス其妻妾及直系卑屬ハ之ニ從フ

同上

第二十條 妻ハ婚姻ニ因リテ夫ノ家ニ入ル但招婿、招夫ハ妻ノ家ニ入ル
養媳、養婿ハ養家ニ入ル
妾ハ夫ノ家ニ入ル

同上

第二十一條 婚姻又ハ縁組ノ解消ニ因リテ妻、招婿、招夫、養媳、養婿ハ生家ニ復歸ス離別セラレタル妾亦同シ
招婿、招夫カ生家ニ復歸スルトキハ其直系卑屬ハ之ニ從フ

同上

第二十二條 招婿、招夫ハ出舍ニ因リテ生家ニ復歸ス其妻及直系卑屬ハ

九九頁

之ニ從フ

第二十三條 子カ嫁母ニ從ヒテ父ノ家ヲ去リタルトキハ繼父ノ家ニ入
ル

子カ繼父ノ家ヲ去リタルトキハ生家ニ復歸ス其妻妾及直系卑屬ハ之
ニ從フ

第二節 家ノ設立及廢絶

二〇一頁

第二十四條 直系卑屬ノ死亡後其喪期ヲ經過シタルトキハ直系卑屬間

ニ其家ヲ分別スルコトヲ得直系尊屬ノ生存中ト雖モ其許諾ヲ得タル
トキ又ハ喪期中ト雖モ其遺命ニ依ルトキ亦同シ

二〇五頁

第二十五條 準家屬カ家ヲ去リ其生家ニ復歸セサルトキハ別ニ一家ヲ
立ツ其妻妾及直系卑屬ハ之ニ從フ

二〇六頁

第二十六條 獨子カ兩家ヲ兼承シタルトキハ之ヲ合家トス(獨子雙祧)但
獨子ノ子孫カ家ヲ分別スルトキハ併合前各家ニ屬シタル家族ハ其家
ニ分屬ス

二〇七頁

第二十七條 家長ハ家ヲ廢シテ他家ニ入ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ廢家ノ家族ハ家長ニ從フ

二〇九頁

第二十八條 家ニ正家族^高ナキニ至リタルトキハ其家ハ廢絶ス
絶家ノ準家屬及婢女ハ生家ニ復歸シ又ハ一家ヲ創立ス

第三節 家長

二一二頁

第二十九條 家長ハ官ニ對シテ其家ヲ代表ス

二一二頁

第三十條 家長ハ家産ヲ管理シ及處分スル權利ヲ有ス但第五百十二條

五五二頁

第二項ノ場合ニ家長カ家産ヲ處分スルニハ他ノ相續人ノ同意ヲ得ル
コトヲ要ス

二一四頁

第三十一條 家長ハ家族ヲ扶養スル義務ヲ負フ

同上

第三十二條 家長ハ婢女ヲ懲戒シ又ハ典雇賣買スルコトヲ得

第四節 尊長

二一七頁

第三十三條 尊長權ハ直系尊屬之ヲ行ヒ直系尊屬ナキトキハ旁系尊長

之ヲ行フ

直系尊屬又ハ旁系尊長二人以上アルトキ尊長權ハ共同シテ之ヲ行フ

二二九頁

第三十四條 尊長ハ卑幼ヲ教令懲戒スル權利ヲ有シ義務ヲ負フ

二二二頁

其直系尊屬ハ放佚ニシテ教令ニ從ハサル卑屬ヲ放逐スルコトヲ得

二二二頁

第三十五條 尊長ハ卑幼ヲ典雇スルコトヲ得

二二三頁

尊長ハ卑幼ヲ他ニ賣斷スルコトヲ得但卑幼ノ意ニ反シテ之ヲ婢女優

二二三頁

娼ト爲スコトヲ得ス

同上

第三十六條 卑幼ハ尊長ノ主婚ニ依ルニ非サレハ婚姻ヲ爲スコトヲ得

同上

第三十七條 卑屬ハ其直系尊屬ノ許可ヲ得ルニ非サレハ別籍又ハ異居

同上

スルコトヲ得ス

二二四頁

第三十八條 卑屬ハ直系尊屬ヲ奉養スル義務ヲ負フ

二二四頁

第三十九條 卑幼ハ特有財産ヲ有スルコトヲ得

二二四頁

第四十條 尊長權ハ左ノ場合ニ消滅ス

二二四頁

一 尊長又ハ卑幼カ死亡シタルトキ

二 尊長又ハ卑幼カ其家ヲ去リタルトキ

第三章 婚姻

第一節 正式ノ婚姻

第一款 婚姻ノ成立

第一項 婚姻ノ要件

二六頁

第四十一條 男ハ滿十五年、女ハ滿十三年ニ達スルニ非サレハ婚姻ヲ爲

二六三頁

スコトヲ得ス

二六三頁

第四十二條 配偶者アル者ハ重テ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス但獨子雙祧者

二六六頁以下

カ兩妻ヲ娶リタルトキハ其後娶ノ妻ヲ以テ妾ト看做ス

二六六頁以下

第四十三條 同姓ノ男女ハ相婚スルコトヲ得ス

二六六頁以下

張、廖、簡ノ三姓、陳、姚、胡、田ノ四姓、又徐、余、塗、涂ノ四姓ハ婚姻ニ關シテハ同

二六六頁以下

姓ト看做ス

二七〇頁

第四十四條 同宗ノ男女ハ相婚スルコトヲ得ス

同宗親ノ妻妾アリシ者ハ婚姻ノ解消後ト雖モ亦前項ニ同シ

二七二頁
二七五頁

第四十五條 左ニ掲ケル外姻ハ相婚スルコトヲ得ス

一 直系血族間

二 直系姻族間

三 同母異父ノ兄弟姉妹間及前夫ノ子女ト後夫ノ子女

四 子女ト其母ノ兄弟姉妹、從兄弟姉妹、再從姉妹トノ間

五 子女ト其父母ノ姑舅兩姨姉妹トノ間

六 孫ト祖母、外祖父母ノ姉妹從姉妹トノ間

七 甥ト舅ノ妻及舅ト甥ノ妻トノ間

八 岳父ト女婿ノ姉妹及父祖ト子孫婦ノ姉妹トノ間

三二六頁

第四十六條 姦通罪ニ處セラレタル男女ハ相婚スルコトヲ得ス

三〇九頁
三五五頁

第四十七條 婚姻ハ雙方ノ主婚人カ協定シタル日時場所ニ於テ男女合

意ノ式ヲ舉グルニ依リテ成立ス

三八七頁

第四十八條 夫タルヘキ者カ女家ニ對シ一定ノ義務ヲ負擔スルコトヲ

約シタルトキハ契字ヲ立ツルコトヲ要ス(招出婚)

第二項 定 婚

二八三頁

第四十九條 定婚ハ雙方ノ主婚人カ媒人ヲ通シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

三〇二頁

定婚ハ聘財又ハ婚書ノ授受ニ依リテ成立ス

二八五頁以下

第五十條 主婚人タルヘキ者ハ左ノ順位ニ依ル

一 祖父母、父母

二 伯叔父母、姑、兄、姊、外祖父母

三 其他四世親内ノ同宗二世親内ノ外姻但尊長ヲ先ニス

二八六頁

第五十一條 寡婦歸宗セスシテ再婚スルトキハ前夫ノ親族ノ主婚ニ依

ル前夫ニ親族ナキトキハ生家ノ親族ノ主婚ニ依ル

二八七頁

第五十二條 嫁母ニ從ヒタル前夫ノ子ハ嫁母ノ主婚ニ依ル

同上

第五十三條 婢女ハ家長ノ主婚ニ依ル

同上

第五十四條 前四條ニ掲ケタル主婚人ナキトキハ自ら主婚スルコトヲ

得

二八八頁

三〇五頁

上

三〇六頁

上

ヲ要ス

第五十六條 定婚ヲ爲シタル者ハ重テ定婚ヲ爲スコトヲ得ス

第五十七條 出生セサル男女ノ爲ニ定婚ヲ爲スコトヲ得ス

第五十八條 定婚ハ左ノ事由ニ因リテ解消ス

- 一 定婚シタル男又ハ女ノ死亡但女又ハ女ノ神主ヲ男家ニ入レタルトキハ婚姻シタル後ニ死亡シタルモノト看做ス

- 二 定婚シタル男女ノ間ニ第八十一條第四號乃至第七號ニ掲ケタル事由生シタルトキ

三〇七頁

同上

第五十九條 定婚ハ雙方主婚人ノ協議ニ依リテ之ヲ解消スルコトヲ得

第六十條 主婚人ノ一方ハ左ノ場合ニ於テ定婚ヲ取消スコトヲ得

- 一 定婚カ他方ノ詐欺ニ因リテ爲サレタルトキ
- 二 定婚カ他方ノ強迫ニ因リテ爲サレタルトキ
- 三 定婚ノ後他方カ姦盜罪ヲ犯シタルトキ

四 協定ノ婚期五年ヲ過キテ男家カ故ナク娶ラサルトキ

第三項 婚姻ノ無効及取消

三三二頁

第六十一條 婚姻ハ左ノ場合ニハ無効トス

- 一 妻ノ重婚
 - 二 同宗間又ハ外姻直系親間ノ婚姻
 - 三 姦通罪ニ處セラレタル男女ノ婚姻
 - 四 人違ニ因ル婚姻
 - 五 情ヲ知り買休シタル婚姻但第七十條ノ規定ニ依ル場合ハ此限ニ在ラス
 - 六 主婚人及媒人ニ依ラサル婚姻
- 第六十二條 左ノ場合ニハ官ハ婚姻ヲ取消スコトヲ得
- 一 男子ノ重婚
 - 二 同姓不宗間ノ婚姻
 - 三 第四十五條第三號乃至第八號ノ規定ニ違反シタル婚姻

同上

三三四頁

第六十三條 左ノ場合ニ於テハ當事者ノ一方ハ其婚姻ノ取消ヲ官ニ請
求スルコトヲ得

一 婚姻カ他方ノ詐欺ニ依リテ爲サレタルトキ

二 婚姻カ他方ノ強迫ニ依リテ爲サレタルトキ

三二九頁以下
及三三四頁

第六十四條 婚姻取消ノ效力ハ既往ニ遡ラス

第二款 婚姻ノ效力

三三九頁

第六十五條 夫ハ婚姻中ノ費用ヲ負擔ス

夫カ貧窮ニシテ自贍スル能ハサル場合ニハ妻ハ夫ヲ扶養スルノ義務
ヲ負フ

三四〇頁

第六十六條 妻ハ夫ト同居スル義務ヲ負フ

同上

第六十七條 妻ハ夫ニ對シテ貞操ノ義務ヲ負フ

三四一頁

第六十八條 夫ハ妻ヲ懲戒スル權利ヲ有ス

同上

第六十九條 夫ハ妻ヲ典雇スルコトヲ得

三四二頁

第七十條 夫ハ左ノ場合ニ妻ヲ嫁賣スルコトヲ得

一 妻カ姦罪ヲ犯シタルトキ

二 妻カ夫ヲ棄テ、逃走シタルトキ

三 夫カ貧窮ニシテ自贍スル能ハス且妻カ嫁賣ニ同意シタルトキ

三四六頁以下

第七十一條 妻カ獨立シテ營業ヲ爲シ又ハ其身體ニ束縛ヲ受クヘキ契

約ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

同上

七十二條 妻ハ左ノ場合ニハ夫ニ代理シ其財産ヲ管理處分スルコト

ヲ得

一 日常ノ家事

二 夫ノ精神喪失ノ場合ニ夫ノ尊長カ管理人ヲ置カザリシトキ但

不動産又ハ重要ナル動産ヲ處分シ或ハ負債ヲ爲スニハ夫ノ尊

長又ハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第三款 夫妻財産關係

三五二頁
三六二頁

第七十三條 婦女カ出嫁ニ際シ其夫家ニ持參シタル財産ヲ粧奩トス粧

奩以外ノ財産ニシテ妻ニ屬スルモノヲ其特有財産トス

三五五頁以下

第七十四條 粧奩ハ妻ノ所有ニ屬ス

三五八頁以下

妻ハ夫ヲシテ其粧奩ヲ管理又ハ收益セシムルコトヲ得但夫カ管理ノ失當ニ因リテ其財産ヲ危クスル虞アルトキハ其管理ヲ取消スコトヲ得

同上

第七十五條 妻カ粧奩ニ屬スル財産ヲ處分スルニハ夫ノ同意ヲ得ルヲ要ス但之ヲ直系卑屬及其妻ニ贈與スル場合ハ此限ニ在ラス

三五九頁

第七十六條 婚姻解消ノ場合ニハ夫家ハ妻ノ粧奩ヲ女家ニ返還スルコトヲ要ス但離婚カ妻又ハ其生家ノ失行ニ因ルトキハ聘金ト相殺スルコトヲ得

二六〇頁

前項ノ規定ハ妻カ夫ノ死後ニ改嫁スル場合ニハ之ヲ適用セス

二六四頁以下

第七十七條 前三條ノ規定ハ妻ノ特有財産ニ之ヲ準用ス

第四款 婚姻ノ解消

二六四頁

第七十八條 夫妻ノ一方カ死亡スルモ婚姻ハ解消セス但妻カ夫ノ死後其家ヲ去リタルトキハ此限ニ在ラス

三七〇頁

第七十九條 夫妻ハ其協議ヲ以テ離婚ヲ爲スコトヲ得

三七二頁

第八十條 妻ハ夫ノ死後ニ於テ夫ノ尊長又ハ家長ト協議シ歸宗又ハ改嫁ヲ爲スコトヲ得

三八六頁

妻カ歸宗又ハ改嫁スル場合ニハ妻ハ夫家ノ同意ヲ得テ子ヲ伴フコトヲ得

三七三頁

第八十一條 左ノ場合ニハ官ハ婚姻ヲ取消スコトヲ得

一 夫カ妻ヲ縱容又ハ抑勒シテ人ト通姦セシメタルトキ

二 夫カ妻ノ意ニ反シテ之ヲ嫁賣典雇シテ人ノ妻妾ト爲シタルトキ

三 夫ノ祖父母、父母、嫡繼養母カ妻ヲ毆打シテ癱疾篤疾ニ致シタルトキ

四 夫妻ノ一方カ他方ノ祖父母、父母ヲ毆打シ又ハ祖父母、父母、伯叔、父母、姑、兄弟姊妹ヲ殺害シタルトキ

五 夫妻ノ一方ノ祖父母、父母、伯叔、父母、姑、兄弟姊妹カ他方ノ祖父母、父母、伯叔、父母、姑、兄弟姊妹ヲ殺害シタルトキ

父母、伯叔、父母、姑、兄弟姊妹ヲ殺害シタルトキ

三七六頁

- 六 妻カ夫ノ本宗四世親、外姻二世親以內ノ親族ト通姦シ又ハ夫カ妻ノ母ト通姦シタルトキ
- 七 妻カ夫ヲ殺害セントシタルトキ
- 第八十二條 左ノ場合ニハ夫ハ妻ヲ離婚スルコトヲ得
 - 一 妻カ姦罪ヲ犯シタルトキ
 - 二 妻カ盜罪ヲ犯シタルトキ
 - 三 妻カ夫ノ祖父母、父母ニ不孝ナルトキ
 - 四 妻ニ惡疾アルトキ
 - 五 妻カ夫ヲ毆打シタルトキ
 - 六 妻カ夫ヲ棄テ、逃走シタルトキ
- 夫ノ死後ニ於テ前項第一號及第三號ノ事由ヲ生シタルトキハ夫ノ直系尊屬ハ其婦ヲ放逐スルコトヲ得
- 第八十三條 三年以上夫ノ踪跡不明ナルトキハ妻ハ官ノ許可ヲ得テ歸宗又ハ改嫁スルコトヲ得

三八二頁

第二節 變例ノ婚姻

第一款 招入婚

- 三八九頁 第八十四條 招入婚ニ於テ女カ家女ナルトキハ其夫ハ之ヲ招婿トシ寡婦ナルトキハ之ヲ招夫トス
- 第八十五條 本章第一節ノ規定ハ本款ニ別段規定アル場合ノ外招入婚ニ之ヲ準用ス
- 三九五頁 第八十六條 獨子ハ他家ニ出贅スルコトヲ得ス
- 三九七頁 第八十七條 招入婚ヲ爲スニハ婚書ヲ立テ出舍ノ期限又ハ條件ヲ記載スルコトヲ要ス但此定メテ爲サ、ルトキハ招婿招夫ハ終生招家ニ留ルコトヲ約シタルモノト見做ス
- 四〇四頁 第八十八條 招婿招夫ハ婚書ニ定メタル期間招家ニ入ル
- 同上 第八十九條 招婿招夫ト招家ノ家族トハ互ニ扶養葬祭ノ義務ヲ負フ
- 四〇一頁 第九十條 招婿招夫ハ其本生直系尊屬ニ對シ扶養ノ義務ヲ免ル但其生家ニ於テ直系尊屬ヲ扶養スル者ナキニ至リタルトキ又ハ出贅ニ際シ

四〇七頁

四〇八頁

四〇九頁

四一二頁
同上

テ之下異リタル定メテ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第九十一條 招婿招夫ハ婚書ニ定メタル出舍ノ期限若クハ條件ノ到來シタルトキ又ハ招家ノ同意ヲ得タルトキハ出舍ヲ爲スコトヲ得
招家ノ尊屬カ故ナク招婿招夫ヲ放逐シ又ハ其妻ヲ重婚セシメタルトキハ招婿招夫ハ官ニ出舍ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 招婿招夫カ出舍シタルトキハ其妻及直系卑屬ハ之ニ從フ但招家ヲ過繼シタル子ハ此限ニ在ラス

第九十三條 夫妻ノ一方カ死亡スルモ招入婚ハ解消セス但妻ノ死後ニ於テ招婿招夫カ其家ヲ去リタルトキ又ハ招婿招夫ノ死後ニ招家カ其神主ヲ出家ニ返還シタルトキハ此限ニ在ラス

第九十四條 招入婚ノ場合ニハ第七十條ノ規定ハ之ヲ適用セス

第九十五條 左ノ場合ニ招婿招夫ノ妻及招家ノ尊長ハ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

- 一 妻又ハ招家ノ尊長カ招婿招夫ヨリ虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ受ケタルトキ

二 招婿招夫カ妻及招家ノ尊屬ノ同意ヲ得スシテ妾ヲ置キタルトキ

三 招婿招夫カ姦盜罪ヲ犯シタルトキ

四 招婿招夫カ逃走シテ歸ラサルトキ

五 招婿招夫カ生業ヲ勉メス其他招家ニ對シ婚約ニ定メタル義務ヲ履行セサルトキ

第二款 養媳縁組

四一三頁

第九十六條 將來家男ノ妻ト爲スヘキ目的ヲ以テ養入シタル女子ヲ養媳トス

第九十七條 本章第一節ニ掲ケタル規定ハ本款ニ別段ノ定メアル場合ノ外養媳縁組ニ之ヲ準用ス

四一八頁

第九十八條 養媳縁組ハ女カ養家ニ入ルニ因リテ成立ス

四一九頁

第九十九條 家女ヲ賣斷シテ他ノ養媳ト爲ストキハ尊長ハ契字ヲ立ツルコトヲ要ス

四二二頁

第一百條 養家ノ尊長ハ養媳ト定婚シタル家男ト婚姻セシムル義務ヲ負フ但生家ノ尊長ノ同意アルトキハ此限ニ在ラス

四二三頁

前項但書ノ規定ハ養媳カ賣斷セラレタル者ナルトキハ之ヲ適用セス

四二四頁

第一百一條 養媳離縁ノ場合ニ於テ第八十二條ニ定メタル權利ハ養家ノ尊長之ヲ行フ

第三款 養婿縁組

四二五頁

第一百二條 家女ノ夫ト爲スヘキ目的ヲ以テ養入スル男子ヲ養婿トス

四二六頁

第一百三條 招婿婚ノ效力及解消ニ關スル規定ハ養婿縁組ニ之ヲ準用ス

第三節 妾

四二七頁以下

第一百四條 置妾ノ要件ニ關シテハ婚姻ノ要件ニ關スル規定ヲ準用ス但

同上

第四十二條ノ規定ハ夫タルヘキ者ニ之ヲ適用セス

同上

第一百五條 妾ヲ置クニハ男ハ自ラ主婚スルコトヲ得但家長ノ意ニ反シテ之ヲ家ニ入ル、コトヲ得ス

同上

第一百六條 妾トナルヘキ女ハ主婚人ヲ立ツルコトヲ要ス

同上

前項ノ場合ニハ婚姻ノ主婚人ニ關スル規定ヲ準用ス

四三五頁

第一百七條 妾ヲ置クニハ媒人ヲ通シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

四三六頁

第一百八條 妾カ買斷ニ依ルトキハ契字ヲ立ツルコトヲ要ス

四三七頁以下

第一百九條 妾ニ對スル夫ノ權利義務ニ付テハ婚姻ノ效力ニ關スル規定ヲ準用ス

四三九頁

第一百十條 妻ナキトキハ妾ハ第七十二條規定ノ權利ヲ行フコトヲ得

四四〇頁

第一百一條 妾ハ妻ニ服従スヘキ義務ヲ負フ

四四一頁以下

第一百二條 夫ハ任意ニ其妾ヲ離別又ハ改嫁スルコトヲ得但妾カ買斷セラレタル者ニ非サルトキハ生家ノ同意ヲ得ルニ非サレハ改嫁スルコトヲ得ス

同上

夫ノ死後ニ於テ妾ニ不行跡アリタルトキハ家長ノ尊屬又ハ妻ハ之ヲ放逐スルコトヲ得

第四章 親子

二四

第一節 實親子

四四四頁以下

第百十三條 妻ノ子ハ之ヲ嫡子トシ妾ノ子ハ之ヲ庶子トス
嫡庶以外ノ子ハ之ヲ姦生子トス

四四八頁以下
四五二頁

第百十四條 姦生子ハ母ニ歸ス

父カ姦生子ヲ子養スルニハ母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

姦生子カ父ニ歸シタルトキハ其母トノ間ニ存スル親族關係ハ消滅ス

四五三頁

第百十五條 庶子ハ左ノ場合ニ嫡子タル身分ヲ取得ス

一 庶子ノ母カ父ノ妻ト爲リタルトキ

二 父カ其妻ノ同意ヲ得テ之ヲ嫡子ト爲シタルトキ

同上

第百十六條 姦生子ハ左ノ場合ニ嫡子庶子タル身分ヲ取得ス

一 姦生子ノ母カ父ノ妻妾ト爲リタルトキ

二 姦生子ノ父カ其妻妾ノ同意ヲ得テ嫡子又ハ庶子ト爲シタルト

キ

第二節 養親子

第一款 養子縁組ノ成立

四六〇頁

第百十七條 生家ト絶縁セサル養男ハ之ヲ過房子トシ生家ト絶縁セル

養男ハ之ヲ螟蛉子トス

收養セラレタル棄兒ハ之ヲ螟蛉子トス

四六八頁

第百十八條 滿二十年ニ達セサル男子ハ養子ト爲スコトヲ得ス

同上

第百十九條 婦子ハ養子ト爲スコトヲ得ス但妻ハ其夫カ死亡シタルト

キニ限り養子ト爲スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ養子ハ死亡シタル夫ニ對シテモ亦養子タル

身分ヲ取得ス

同上

第百二十條 養子ハ養親ヨリ年少ナルコトヲ要ス

親族間ノ養子ハ養親ト招穆ノ序次ヲ紊サ、ルコトヲ要ス

女婿又ハ子婦タル者ハ同時ニ養子ト爲ルコトヲ得ス

四七一頁

第百二十一條 養子縁組ヲ爲スニハ養家及生家ノ父母ノ合意アルコト

ヲ要ス但生家ニ父母ナキトキハ其他ノ尊長養家ニ父母ナキトキハ養父ノ近親ノ合意アルコトヲ要ス

同上 第二百二十二條 養子タルヘキ者カ成年ニ達シタルトキハ其同意ヲ得ルコトヲ要ス

四七二頁以下 第二百二十三條 養子縁組ヲ爲スニハ契字ヲ立ツルコトヲ要ス

四七四頁 第二百二十四條 養子縁組ハ養子カ養家ニ入ルニ因リテ成立ス養家ニ入

ラサルモ縁組ノ契字又ハ乳哺銀、身價銀ノ授受アリタルトキハ之ニ因リテ成立ス

四七四頁以下 第二百二十五條 棄兒ハ之ヲ收養スルコトヲ得、迷失兒ト雖モ官ノ許可ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二款 養子縁組ノ效力

四七七頁 第二百二十六條 養子ハ養父ノ姓ヲ冒ス

四七九頁 第二百二十七條 養子ハ養家ニ於テ嫡子タル身分ヲ取得ス但養父カ其妻

ヲシテ子養セシメタルトキハ庶子タル身分ヲ取得ス

第三款 養子縁組ノ解消

四八四頁 第二百二十八條 養家及生家ノ尊長ハ協議ニ依リ養子ノ離縁ヲ爲スコト

ヲ得

四八五頁 第二百二十九條 左ノ場合ニハ官ハ養子縁組ヲ取消スコトヲ得

一 養家ノ父母、祖父母カ養子ヲ毆打シテ癡疾篤疾ニ致シタルトキ

二 養家ノ父母又ハ尊長カ養女ヲ縱容又ハ抑勒シ人ト通姦セシメ

タルトキ

同上 第二百三十條 左ノ場合ニハ養家ノ父母、祖父母ハ養子ノ離縁ヲ官ニ請求スルコトヲ得

一 養子カ養家ノ父母、祖父母ニ對シテ不孝ナルトキ

二 養子カ放佚ニシテ家産ヲ傾クルノ虞アルトキ

三 養子カ姦盜其他重大ナル罪ヲ犯シタルトキ

四 養子カ逃走シテ歸ラサルトキ

同上 第三百一十一條 左ノ場合ニハ生家ノ父母、尊長ハ養子ノ離縁ヲ官ニ請求

スルコトヲ得

四八七頁

一 養家ニ實子ヲ生シ生家ニ子ナキニ至リタルトキ
 二 養家ノ父母、尊長カ生家ノ父母、尊長ノ意ニ反シテ養子ヲ他ニ轉賣セントシタルトキ但絶縁ノ養子ナルトキハ此限ニ在ラス
 第三百二十二條 離縁セラレタル養子ハ養父ヨリ相續シタル財産ヲ持去ルコトヲ得ス

第五章 託 孤

四八八頁
四九〇頁

第三百二十三條 父母、祖父又ハ祖母ハ其死後ニ於ケル幼兒ノ身體財産ノ保護ヲ他人ニ託スルコトヲ得(託孤)

四九一頁

父母、祖父、祖母共ニ在ラサルトキ親族會ハ前項ノ託孤ヲ爲スコトヲ得
 第三百三十四條 託孤ハ託孤人及受託人ノ合意ニ依リテ成立ス
 遺言ヲ以テ託孤ヲ爲シタルトキハ受託人カ之ヲ承諾シタルトキニ成立ス

四九二頁以下

第三百三十五條 受託人ハ幼兒ノ保護及教育ヲ爲シ財産ヲ管理スルノ權

同上

利ヲ有シ義務ヲ負フ

受託人數人アルトキハ其職務ヲ分掌スルコトヲ得但財産ノ處分其他重要ナル事項ニ關シテハ其一致ヲ要ス

第三百三十六條 受託人ハ自己ノ責任ヲ以テ幼兒ノ親族ニ職務ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

四九四頁

第三百三十七條 受託人ハ相當ノ注意ヲ以テ其職務ヲ行フコトヲ要ス

四九三頁

第三百三十八條 受託人ハ幼兒ト財産上ノ法律行為ヲ爲スコトヲ得ス

四九五頁

第三百三十九條 託孤ハ左ノ場合ニ終了ス

- 一 幼兒カ自ラ家政ヲ處理スルヲ得ルニ至リタルトキ
- 二 受託人ノ死亡

四九六頁

第四百十條 受託人ハ已ムヲ得サル事由アルトキハ其職務ヲ辭スルコトヲ得

同上

第四百十一條 受託人カ幼兒ヲ虐待シ或ハ其財産ヲ危シスルノ虞アルトキハ幼兒又ハ親族會ハ託孤ヲ取消スコトヲ得

同上

第四百十二條 託孤カ終了シタルトキハ受託人ハ親族會ニ事務處理ノ

四九七頁

同上

願末並ニ收支計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス
第四百十三條 幼兒カ死亡スルモ託孤ハ終了セス
前項ノ場合ニハ受託人ハ親族會ヲ開キ其繼嗣ヲ立ツルコトヲ要ス
第四百十四條 子孫ナキ者カ其財産ヲ委託シ繼嗣ノ追立ヲ託スルトキハ託孤ニ關スル規定ヲ準用ス

第六章 親族會

二三二頁以下

第四百十五條 親族會ハ本宗近親ヲ以テ之ヲ組織ス但必要アルトキハ遠親及外姻ヲ加フルコトヲ得

同上

婦女未成年者其他ノ無能力者ハ會員タルコトヲ得ス
第四百十六條 會議ヲ要スル事件ノ本人或ハ其家長尊長夫受託人及親族ハ何時ニテモ親族會ヲ招集スルコトヲ得

二三五頁

第四百十七條 親族會ノ權限ハ左ノ如シ
一 家長權尊長權夫權ノ行使者ナキ場合ニ其權利ヲ行フコト
二 家長尊長又ハ夫カ自ラ事件ノ處置ヲ親族ノ協議ニ任シタル場

- 合ニ之カ處理ヲ爲スコト
- 三 親族間ノ爭議ヲ解決スルコト

第二篇 相續

第一章 家産相續

第一節 總則

五四九頁

第四百十八條 家祖カ取得シタル財産及家族カ家祖ノ名義ニ於テ取得シタル財産ハ之ヲ家産トス
家産ハ家祖ノ所有ニ屬ス家祖死亡シタルトキハ家産相續人ノ所有ニ歸ス

五六二頁

第四百十九條 家産相續ハ被相續人ノ死亡ニ因リテ開始ス

五六三頁

第四百十條 家産相續ハ被相續人ノ住所ニ於テ開始ス
第四百十一條 被相續人カ生前ニ於テ家産ヲ相續人間ニ分割シタルトキハ本章ノ規定ヲ準用ス

同上

第二節 家産相續人

五六四頁以下

第五百五十二條 家産相續人タル順位ハ左ノ如シ

- 一 男子タル子
- 二 妻
- 三 女子タル子

同順位ノ者數人アルトキハ共同ニ家産ヲ相續ス

五七〇頁以下

第五百五十三條 前條第一項第一號及第二號ノ相續人カ相續開始前ニ死亡シタル場合ニ其直系卑屬又ハ妻アルトキハ直系卑屬又ハ妻ハ前條ノ順序ニ依リ相續人ニ代位ス

五六七頁

第五百五十四條 妻カ家産相續人ト爲リタル場合ニハ夫ノ繼嗣ヲ立テ之ニ其家産ヲ相續セシムルコトヲ要ス

五六六頁

第五百五十五條 招婿招夫ハ招家ノ家産ヲ相續スルノ權利ヲ有セス但招家ハ家産ノ一部ヲ之ニ酌給スルコトヲ得

五七一頁

第五百五十六條 家産相續人カ被相續人ノ家ヲ去リタルトキハ其相續權

五七三頁

ヲ失フ但圖分前ニ歸來シタルトキハ其權利ヲ回復ス

第五百五十七條 家産相續人カ死亡シタル場合ニ直系卑屬ナキトキハ被相續人ノ意思又ハ他ノ相續人間ノ協議ニ依リ死者ノ爲ニ繼嗣ヲ追立シテ之ニ代位セシメ又ハ後日繼嗣ヲ立テ、家産ノ一部ヲ相續セシムルコトヲ得

五七二頁

第五百五十八條 左ノ場合ニ被相續人ハ家産相續人ヲ廢除スルコトヲ得

- 一 家産相續人カ姦盜其他重大ナル罪ヲ犯シタルトキ
- 二 家産相續人カ放佚ニシテ家産ヲ危クスルノ虞アルトキ
- 三 家産相續人カ被相續人ニ對シテ不孝ナルトキ
- 四 家産相續人カ踪跡不明ナルトキ但其直系卑屬又ハ妻アルトキハ之ニ代位ス

第三節 家産相續ノ效果

第五百五十九條 家産相續人ハ相續開始ニ依リ被相續人ノ財産ニ屬セシ一切ノ權利義務ヲ承繼ス

五七五頁

第六十條 家産相續人數人アル場合ニ家産ヲ分割セサル間ハ其財産ハ凡テノ相續人ニ屬ス

五六四頁以下

第六十一條 同順位ノ相續人數人アルトキハ各自ノ相續分ハ相等シキモノトス但被相續人ノ意思又ハ相續人間ノ協議ニ依リ相續分ニ差等ヲ設クルコトヲ得

五六六頁

第六十二條 祖父母、父母ノ生存中及其死後喪期ヲ經過セサル間ハ子孫ハ家産ヲ分割スルコトヲ得ス但シ被相續人ノ意思ニ依ルトキハ此限ニ在ラス

五七七頁

第六十三條 墳墓、祠堂、祖龕其他之ニ屬スル財産ハ之ヲ分割スルコトヲ得ス

第六十四條 相續財産分割ノ方法ハ相續人間ノ協議ニ依ル但被相續人ノ遺言アルトキハ之ニ從フ

五七八頁以下

第六十五條 被相續人又ハ相續人ハ家産ノ一部ヲ抽存シテ公業又ハ養贍財産ヲ設定スルコトヲ得

五七九頁以下

第六十六條 被相續人又ハ相續人ハ家産ノ一部ヲ抽出シテ長孫額、子

五八三頁

女ノ婚費、功勞額トシ又ハ相續人外ノ親族ニ贈與スルコトヲ得

第六十七條 家産ノ分割ハ圖分ニ依ル

五八五頁以下

家産ノ分割ニハ相續人及近親ノ立會ヲ要ス

第六十八條 家産ノ分割ヲ終了シタルトキハ圖書ヲ調製シ設定シタル公業、養贍財産、贈與スヘキ財産及相續人ノ取得スヘキ財産ヲ開載スルコトヲ要ス

圖書ハ家産相續人ノ數ニ應シテ數本ヲ作り各其一本ヲ保存スルコトヲ要ス

五八六頁以下

第六十九條 各相續人ハ他ノ相續人ノ分得財産ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

五八九頁

第七十條 家産分割ニ際シ債務カ相續人ノ一人ニ歸シタル場合ニ其相續人カ債務ヲ辨済スルコト能ハサルトキハ債權者ハ他ノ相續人ニ對シテ其辨済ヲ請求スルコトヲ得但債權者カ家産分割ノ當時其債務カ相續人ノ一人ニ歸シタル通知ヲ受ケタルモ異議ヲ申立テサリシトキハ此限ニ在ラス

第四節 家産相續ノ承認及拋棄

三六

五九〇頁

同上

第一百七十一條 家産相續人ハ限定承認ヲ爲スコトヲ得ス

第一百七十二條 家産相續人ハ相續權ヲ拋棄スルコトヲ得但之ニ依リテ債務辨濟ノ義務ヲ免ルコトヲ得ス

第五節 家産相續人ノ曠缺

五九一頁

第一百七十三條 家産相續人ノ曠缺シタル財産ハ之ヲ地方ノ公費ニ充當ス但被相續人ノ遺言又ハ其親族ノ意思ニ依リ被相續人ノ祭祀財團トシ又ハ繼嗣ヲ追立シテ之ニ相續セシムルコトヲ定メタルトキハ此限ニ在ラス

第二章 私産相續

五九二頁

同上

第一百七十四條 家族ノ私産相續ハ被相續人ノ死亡ニ因リテ開始ス

第一百七十五條 家族ハ其遺言ヲ以テ私産ノ歸屬ヲ定ムルコトヲ得

家族カ遺言ヲ以テ私産ノ歸屬ヲ定メサリシトキハ其私産ハ直系卑屬

五九二頁以下

第三章 遺言

ニ歸シ直系卑屬ナキトキハ配偶者ニ歸シ配偶者ナキトキハ兄弟ニ歸シ兄弟ナキトキハ近親ニ歸ス

第一百七十六條 遺言ハ親族立會ノ上之ヲ爲スコトヲ要ス

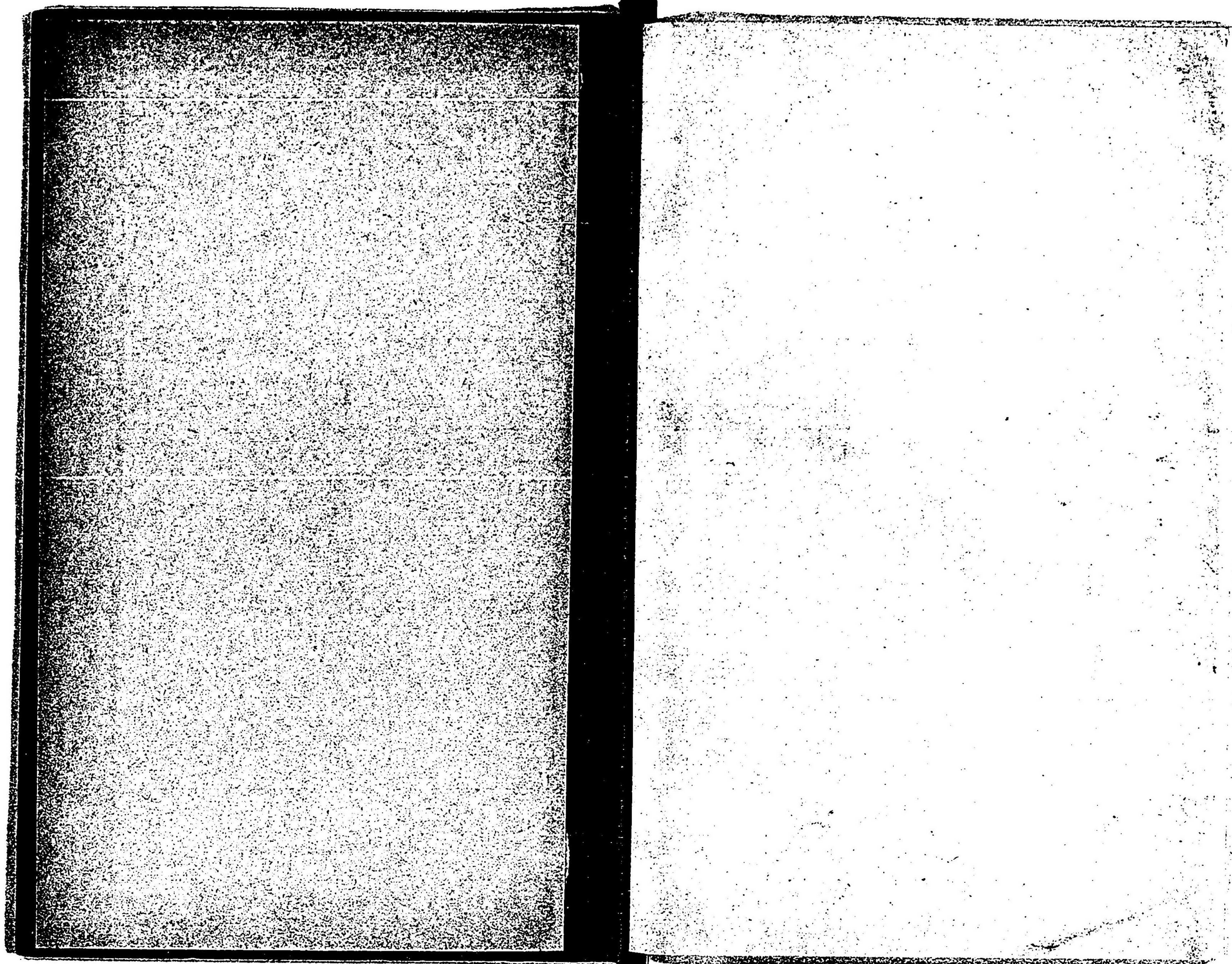
遺言ヲ爲スニハ遺囑書ヲ作り遺言者及知見人之ニ連署スルヲ要ス已ムヲ得サル事由アルトキハ前二項ノ規定ヲ適用セス

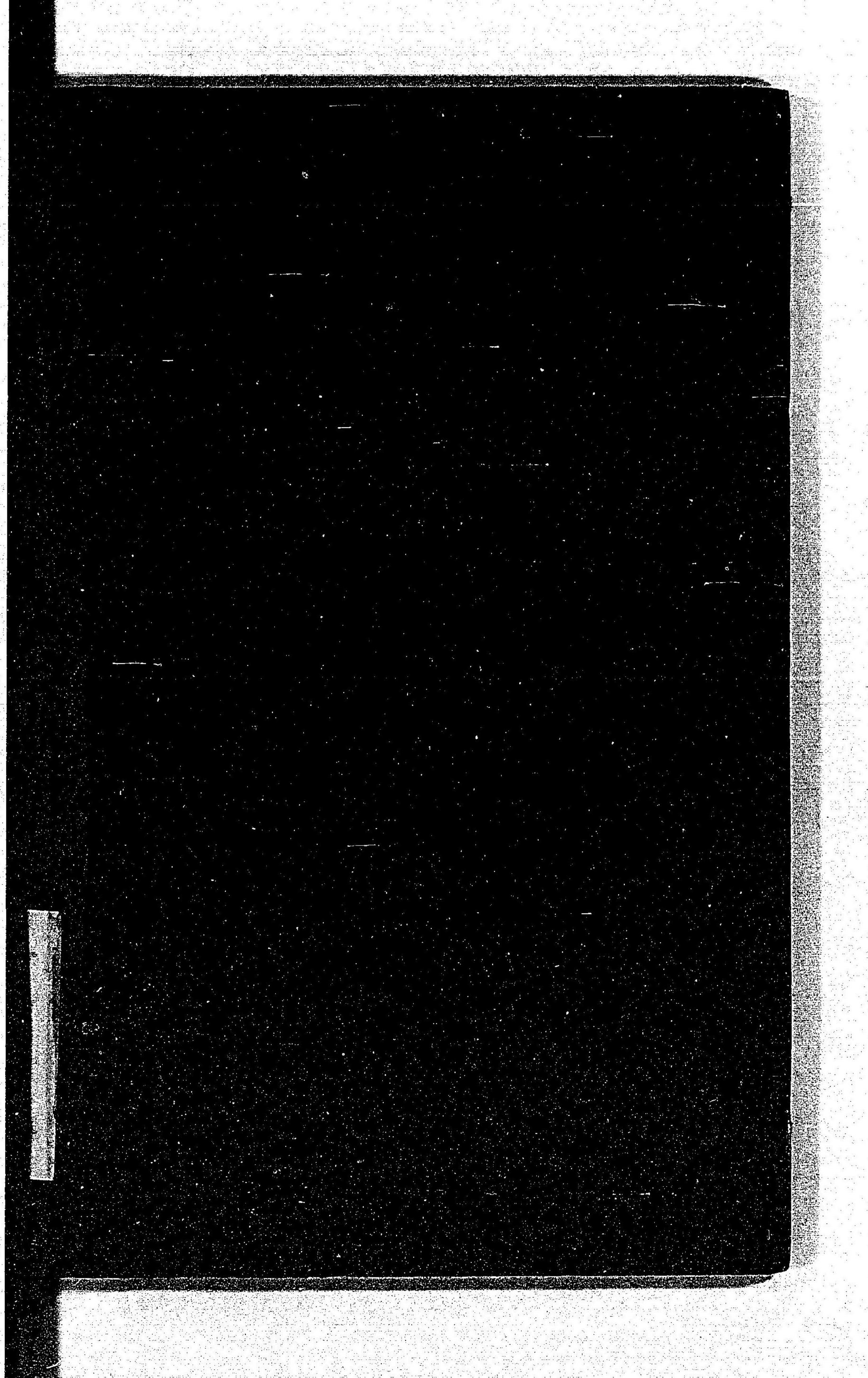
第一百七十七條 遺言ハ遺言者ノ死亡ニ因リテ其效力ヲ生ス

10
0

CL
NO. 25014

法政院第一課
34.5.30
調查立法考查局





324.92

R57t2

033909-001-1

324.92-R57t2

台湾親族相續令草案

第1-3

臨時台湾旧慣調査会

M44-45

BBL-0299

